

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	岩田 誠
内山真一郎	臺 弘
大友 英一	梶 龍兒
金澤 一郎	高坂 新一
酒田 英夫	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
中野 今治	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 將	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

ロンドンオリンピックの17日間が終わった。始まる前は、金メダル論議が盛んであったが、終わってみればメダル獲得数の記録が話題となった。スポーツ音痴で関心が低かった私も生来の睡眠障害が幸いしてテレビに釘付けになった。恥ずかしながら選手のエピソードに触れては涙腺を緩め、数々の名場面を見て感動し、興奮し、力こぶを握りしめ、小声を出して楽しんだ。情感を司る辺縁系が活性化されたと思った瞬間に「あとがき」の宿題を思い出し我に返ってしまった。

多細胞生物を構築する細胞は細胞膜という境界で内外のイオン環境を含めて質的な不一致がある。その不一致が物理的・化学的刺激によって変化することで興奮と呼ばれる現象が生じる細胞があり、神経細胞と呼ばれている。生物の進化とともに神経系が運動系と感覚系に分化し、それらを連結する調節系が発達してきた。翻って私たちの脳に目を移すとき、「辺縁系」は、ブローカをして“le grand lobe limbique”と呼ばしめたことにその名称が由来するように、その連結を担う前後軸あるいは、大脳・小脳と脳幹・間脳(視床)の縁(limbus)に位置することを忘れてはならない。まさにこの解剖学的視点から、機能上の期待と関心が収束するとしても無理はない。「辺縁系について」の本特集は、ずいぶん乱暴な企画に映るかもしれない。それは分類上、脳組織の3分の1を占める辺縁系を1つの特集としてまとめ得るのかという真摯な正論であるに違いない。しかしながら辺縁系の機能については、われわれがこれまで臨床上で知り得た知識が極めて限られてきたことで、萌芽段階を超えていないことも認めざるを得ないので、まずは此处よりの出発とした。辺縁系の個別の特定部位である海馬、帯状回や扁桃体についての各論を議論することは難しくないが、辺縁系として捉え直す必要があろう。本号がその整理の機会となれば幸いである。具体的な例をあげて辺縁系の全体像をあぶり出す試みとなった対談「辺縁系をめぐる」では、排尿制御を禁制獲得として解説することで、辺縁系の原点ともいえる調節系の一側面を明確に浮かび上がらせている。さらに、快・不快の情動を、パーキンソン病の「懲りない症候群」を例として生理的行動選択を解析しつつ、辺縁系の奥深さを解説した岩田論文は読み進めるうちに自分の考えとなっていることに気づかされる。さらに、鈴木論文と上山論文では島回、扁桃体の神経連絡の緻密さが、そのまま機能的多面性を映し出す鏡になっていることを学び、今後の研究に光を与えているようである。船村論文では、Damasio レポートとともにモラルという高度な判断機能が情動や報酬系の辺縁系部位と不可分であることを示唆し、辺縁系の交錯した機能を紹介している。全体として本特集企画の新鮮さもあるが各論文には自由に飛び跳ねる新鮮なリズムが感じられ、早くも第2弾の続編が待ち遠しい焦燥を憶えた。

(森 啓)

BRAIN and NERVE (第64巻 第10号)

2012年10月1日(毎月1回1日発行)

定価 2,835 円〔本体 2,700 円＋税 5 % (配送料実費)〕

2012 年 年間購読料 (税込み、配送料弊社負担)

冊子版 35,670 円、冊子＋電子版 個人 40,670 円／共有 46,100 円、

電子版 個人 35,670 円／共有 41,100 円

販売部直通電話 (03)3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2012, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。